

アスパラガス (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	疫 病	べ と 病	茎 枯 病	褐 斑 病	斑 点 病	株 腐 病	立 枯 病	苗 立 枯 病	軟 腐 病
I Cボルドー66DFL	M1		-	-			◎						
Zボルドー水	M1		-	-			◎		◎				
クプロシールドFL	M1		-	-			◎		◎				
コサイド3000DF	M1		-	-			◎	◎	◎				
ドイツボルドーA水	M1		*a	-			◎						
スターナ水	31		1	2									◎
トップジンM水㊟	1		*g	5			◎				◎		
ベンレート水㊟	1		1	4			◎			◎			
アフエットFL	7		1	4			◎	◎	◎				
バレード20FL	7		1	3			◎		◎				
アミスター20FL	11		1	4			◎	◎	◎				
ストロビーFL	11		1	3					◎				
ファンタジスタ顆水	11		1	3			◎	◎	◎				
メジャーFL	11		1	3			◎		◎				
ジオセット水	19		1	3			◎		◎				
フロンサイドSC	29		*e	5			露		露				
ロブラール水	2		1	5			◎	◎	◎				
リゾレックス水	14		*c *f	3			◎					◎	
スコア顆水	3		1	2					◎				
トリフミン水	3		7	1							◎		
ラリー水	3		1	2			◎	◎	◎				
キノンドーFL	M1		3	5		◎	◎						
ジマンダイセン水	M3		*e	6			露	露	露				
ペンコゼブ水	M3		*e	6			露	露	露				
マンゼート水	M3		*e	6			露	露	露				
ダコニール1000FL	M5		1	4	◎		◎	◎	◎				
ベフラン液25	M7	劇	*d	5			◎						
ベルコート水	M7		7	5			◎	◎	◎				
ユニフォーム粒	4・11		1	3	◎								
フォリオゴールドFL	4・M5		1	3	◎								
ダコレート水㊟	1・M5		*b	4			◎		◎				
シグナムWDG	7・11		1	2			◎	◎	◎				
ベジセイバーFL	7・M5		1	4			◎	◎	◎				
プロボーズ顆水	40・M5		1	3	◎								
シトラノFL	M1・M5		*h	4			◎	◎	◎				

㊟:ファネートメチル含有剤 ㊟:ベニル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での㊟は使用しないこと。その逆も同様 (種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856参照)。*a:収穫後 *b:収穫終了後 *c:収穫後～茎葉刈り取り期まで (但し収穫14日前まで)

*d:収穫終了後 (冬期まで) *e:収穫終了後 (但し秋期まで)

*f:株養成期 (播種又は定植時から茎葉刈り取り期まで) (但し収穫14日前まで)

*g:収穫開始7日前まで *h:収穫開始3日前まで

露:露地栽培

アスパラガス(野菜類の登録農薬も使用できる)

ア ス パ ラ ガ ス

薬剤名	作用機 構分 類コ ード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	カ メ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	オ オ タ バ コ ガ シ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	ジ ユ ウ シ ホ シ ク ビ ナ ガ ハ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	ナ メ ク ジ 類
スピノエース顆水	5		1	2				◎								
コロマイト乳	6		1	2											◎	
アディオンFL	3A		1	3						◎	◎					
アディオン乳	3A		1	3	◎		◎			◎				◎		
アードント水	3A		1	2	◎		◎		◎						◎	
ガードベイトA粒	3A		1	3									◎			
スカウトFL	3A	劇	1	3						◎						
アクタラ顆溶	4A		1	3				ギ								
アドマイヤー顆水	4A	劇	1	2				◎								
アドマイヤーFL	4A	劇	1	2				◎								
アルバリン顆溶	4A		1	3		◎	◎	◎						◎		
ダントツ溶	4A		1	3	◎		◎	ギ						◎		
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2	◎	◎	◎	◎						◎		
ディアナSC	5		1	2		◎	◎	◎	◎		◎			◎		
アニキ乳	6		1	3		◎					◎					
アフーム乳	6		1	2					◎	◎	◎				◎	
コルト顆水	9B		1	3		◎	カ	ギ								
コテツFL	13	劇	1	2					◎	◎	◎			◎	◎	
リーフガード顆水	14	劇	1	2		タ		◎								◎
カウンター乳	15		1	2					◎		◎					
カスケード乳	15		1	2				◎	◎		◎					
ノーモルト乳	15		1	2							◎					
マイトコーネFL	20D		1	1											◎	
ハチハチFL	21A	劇	1	2	◎	◎	ア	ギ						◎		
アクセルFL	22B		1	3							◎					
アクセルベイト粒	22B		1	3							◎					
モベントFL	23		1	3		◎		◎							◎	
ダニサラバFL	25A		1	2											◎	
ダニコングFL	25B		1	2											◎	
フェニックス顆水	28		1	2					◎	◎	◎					
ブレバゾンFL 5	28		1	3							◎					
ベネビアOD	28		1	3				◎			◎					
ウララDF	29		1	3	◎			ギ								
グレーシア乳	30		1	2				◎			◎			◎	◎	
プロフレアSC	30		1	3					◎	◎	◎	◎		◎		
アベンジャーFL	34	劇	1	2		シ		◎								
ファインセーブFL	34	劇	1	2		シ		◎								
ブレオFL	UN		1	2				ギ	◎	◎	◎					
ナメクリーン3粒	-		1	2												◎
ナメトックス粒	-		1	2												◎
ナメナイト	-		1	2												◎

ア:ツマグロアオカスミカメ カ:カスミカメムシ類 ギ:ネギアザミウマ
タ:タバココナジラミ シ:タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)

アスパラガス(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
茎枯病	生育期	1. 畑の排水をよくする。 2. 過繁茂を避け、通風をよくする。 3. 雨よけ栽培をする。 4. 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤# 400～600倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 ベルコート水和剤 1000倍 ベンレート水和剤 2000倍 Zボルドー(水) 500倍	梅雨期と秋雨期に発生が多い。多発してからでは防除は手遅れとなるので、初期の防除を徹底する。 # 露地栽培で収穫終了後(但し秋期まで)の使用に限る。
斑点病	生育期	1. 畑の排水をよくする。 2. 過繁茂を避け、通風をよくする。 3. 雨よけ栽培をする。 4. 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤# 500倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 ベルコート水和剤 1000倍 Zボルドー(水) 500倍	# 露地栽培で収穫終了後(但し秋期まで)の使用に限る。
アブラムシ類	生育期	1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.8mm以下の防虫ネットを張る。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000倍 ウララDF 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	
コナジラミ類	生育期	1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.8mm以下の防虫ネットを張る。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 コルト顆粒水和剤 4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 コテツフロアブル 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍	
ジュウシホシクビナガハムシ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍	